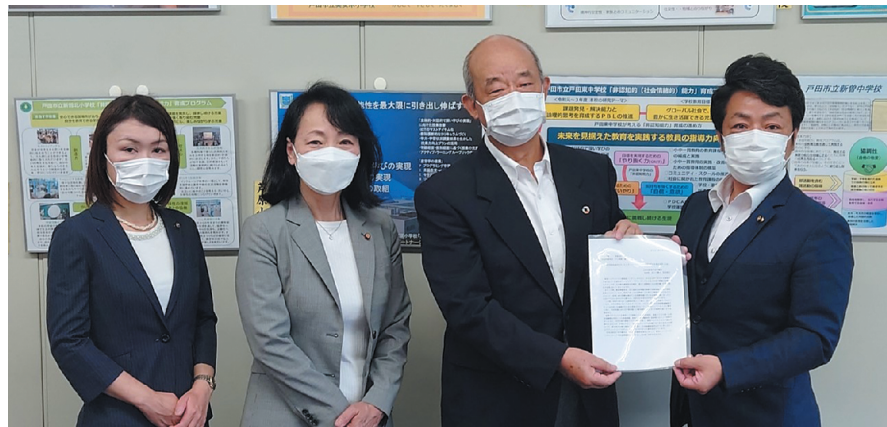


「中学生の東京オリ・パラ観戦の中止を」

市教育委員会 中学生の東京オリ・パラ観戦 6/15「中止」を決定



【左から、むとう葉子市議、花井伸子市議、戸ヶ崎勤教育長、本田哲市議—6月15日撮影】

日本共産党戸田市議団は「学校連携観戦チケット」による戸市内6校の中学生などを対象とした東京オリ・パラ観戦の実施について、公共

交通を利用しての密接移動や多数の一般観戦者と長時間同席することで生徒達の感染リスクが高まるとし、「生徒達の感染リスクを回避するため、東京オリ・パラの学校連携観戦は中止すべき」と要望書を戸ヶ崎勤戸田市教育長に手渡し懇談しました。

戸田市教育委員会は、コロナ感染の不安を払拭できないこと等を踏まえ、6月15日、「学校連携観戦チケット」を辞退することを決定しました。



日本共産党戸田市議団は、同日、菅原文仁市長にも要望書を手渡し懇談しました。

【左から、花井伸子市議、菅原文仁市長、本田哲市議、むとう葉子市議—6月15日撮影】

戸田市「白田の湯」廃止し、保養事業は今後実施しない

市民は「白田の湯」存続と「保養事業」の継続を望んでいる

2380人の「白田の湯」存続を求める市民の声はどう反映されたのか？

市は「白田の湯」廃止の理由として、市民意識調査(以下、調査)で「保養所の存続は必要である」との声が少なかったからだとしています。しかし、昨年「存続させる会」から、2380筆の存続を求める署名が市長に提出されています。本当に市民の声を反映した結論なのでしょうか。



「白田の湯」HPより

「白田の湯」廃止後は、保養事業を行わず「とだ元気体操」等の利用促進を図る？

市は、保養所運営は健康増進策なので「白田の湯」廃止後は、「とだ元気体操」等の健康増進策の利用促進を図るとしていますが、「今後、各担当部所と調整する」と具体的なことは何も決めていません。

市民の「40.1%」が民間施設への利用補助を実施した「保養事業」継続を望んでいる！

調査では、「保養所の運営や宿泊補助等の保養事業を、市で行う必要はない」41.5%。「保養所を廃止して、代わりに宿泊・入浴施設等の利用補助を実施する」40.1%となっています。しかし、市は、民間施設を利用した保養事業も行わないと決めました。調査結果で拮抗している市民の声をどう分析し結論を出したのでしょうか。

「調査結果をしっかりと分析し保養事業の実施について再検討すべき」

今回の「白田の湯」廃止等の決定は、市に都合の良い調査結果を利用して出していると思わざるを得ません。検討委員会の市民代表からは「調査結果を基に、多くの市民の意見を聞かないと判断できない」との意見が出ています。市は、調査結果をしっかりと分析し保養事業の実施について再検討すべきです。

「建築アスベストのばく露防止対策等の強化を求める意見書」 国に提出

日本共産党戸田市議団が提出した意見書④に「△」とした会派と文言の調整を行い、議会最終日、全会一致で採択され国に提出されました(意見書一覧表参照)。意見書は、ばく露防止対策の強化や関連疾患の医療体制の整備などを国が責任をもって実施することを求めています。

	みらいの会 (熊木、遠藤、榎本、細田、そごう、古屋)	戸田の会 (酒井、浅生、佐藤、矢澤、野澤、宮内)	令和会 (山崎、伊東、斎藤、峯岸、林)	公明党 (三浦、石川、三輪、竹内)	立憲民主 とだ	スーパークレイジー君党 (スーパークレイジー君)
①東京オリンピック・パラリンピックを中止し、新型コロナ対策に全力を挙げることを求める意見書	×	×	×	×	×	△
②教員免許更新制の廃止を求める意見書	×	△	×	×	△	△
③LGBTQ(性的少数者)に関する差別解消を目的とした法整備を求める意見書	×	○	△	△	○	○
④建設アスベストに対するばく露防止対策等の強化を求める意見書	○	○	△から○に	○	○	△から○に
⑤持続可能な国民健康保険制度の整備を求める意見書	×	△	×	×	△	△

○…賛成 △…調整の余地あり ×…反対【意見書一覧表】

「みなさんの願い実現へ」日本共産党戸田市議団の一般質問



花井伸子市議

●新型コロナ感染症対策の強化を

Q. コロナ対策の基本は、PCR検査の徹底・希望者全員への迅速なワクチン接種・くらしと仕事の応援である。

①高齢者ワクチン接種の見通しと一般接種の最終見込み、②今後の生活支援、③経済支援策は。

A. ①高齢者接種は7月31日終了を目標としている。高齢者に次ぎ基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者、60歳から64歳までの方に順次接種券を発送する。希望者全員の一般接種は可能な限り早期に終了できるよう市を上げて取り組む、②生活支援は国の住居確保給付金に3か月延長の補正予算を提出している。今後も丁寧な相談支援により、必要な方に支援が届くよう対応する、③8月にペイペイによるキャッシュレス返済20%還元と70歳以上の方へ地域共通商品券1000円を敬老祝品2000円と共に送付する。

●学校トイレに生理用品の設置を

Q. コロナ感染拡大から「生理の貧困」が社会問題化している。コロナ禍に限らず、学校トイレに生理用品を設置し教育環境を整えては。

A. 各学校が実態に応じ提供場所を設置するよう校長会に情報提供する。

●戸田市飼い主のいない猫の避妊・去勢手術費補助事業の申請手続き改善を

Q. 補助事業の申請方法が面倒で補助金を活用できないとの苦情が出ている。

現実に見合った申請様式に改善することはできないか。

A. 県補助金を受けて実施している事業であるため提出書類が決まっている。変更は難しい。

地図の作成等難しい場合は支援する。決定から手術までの期間については、事情に応じ期間延長を検討する。



耳先をV字カットした手術後の猫



むとう葉子市議

●DV防止対策の拡充を

Q. 新型コロナ感染対策で、全国的にDV件数が増加している。本市における第5次戸田市男女共同参画計画には「DVのワンストップ対応」とあるが、①現状は、②相談員のスキル向上のための研修回数は、③配偶者暴力相談支援センター（以下、配暴センター）の設置で、行政サービスを受けるために必要な各種証明書の発行が可能となる。設置の検討状況は。

A. ①被害者が繰り返し説明しなくてすむワンストップ対応を行い、二次被害の防止に努めている、②相談員は7名おり、毎年1～2名が研修に参加し、他の職員と共有している、③近隣自治体の状況を調査し協議している。

Q. 相談員全員が研修を受けられるようにすべき。専門の婦人相談員を配置しては。

A. 婦人相談員の配置は考えていない。

要望：配暴センターと一体に婦人相談員を配置した場合、国からの補助金が受けられる。DV防止の観点から、早急に調査と協議を進めるべき。

●水害避難の対策強化を

Q. 令和3年4月に戸田市ハザードブックが改訂となった。①改訂内容は、②市の緊急一時避難所の他、新しく出来たマンションとの協定を急ぐべきでは、③避難行動要支援者の避難対策はどのようか。

A. ①ハザードブックの改訂には、マイタイムラインを設けた、②自主防災会に働きかける、③「おねがい会員・まかせて会員」と「避難行動要支援者避難支援制度」にて支援の輪を広げる。

戸田市発行ハザードブックより「マイタイムライン」



●落ち葉清掃のためゴミ袋の提供を

Q. 下前公園通りのケヤキ並木を清掃する地域の方々より、ゴミ袋を提供して欲しいとの声が寄せられた。市の考えは。

A. 町会や自治会の衛生自治会が、地域の清掃活動で利用するゴミ袋の提供がなされている。市の環境課で案内する。



本田哲市議

●「あいパル」にトコバス停留所を

Q. 「あいパル」にトコバスを停車させることは出来ないか。

A. 公共施設「あいパル」に停車できるよう国際興業バスと協議する。

●大型物流施設の建設事業者との協議の現状は

Q. 川岸2丁目の大型物流施設建設において、市が事業者に求めている内容は。

A. 大型トレーラー（18メートル）の運用を止めること。戸二小通り側の出口から大型トレーラーを出さないこと。北側出口から川岸2丁目交差点を円滑に通行させるための車道拡幅を含めた交差点改良など、いずれかの対策を講じることである。事業者が求めに応じない場合、協議は終了しないのでねばり強く協議する。



大型物流施設の建設予定地(5月15日撮影)

Q. 建設計画に反対する5700人の署名が市長に手渡された。市長の受け止めと、今後の対応は。

A. 地域の思いはしっかりと受け止めている。担当部局には、この思いに真摯に向き合い丁寧に対応するよう指示している。命の大切さを第一に考え、関係機関と連携を図り条例等に基づき事業者との協議を適切に行う。

「選択的夫婦別姓 継続審査の法制化を国に求める請願」

日本共産党戸田市議団が紹介議員となり、市民団体から提出された請願。委員会審査において「個人的には賛成」、「会派のなかで賛否が一致していない」と意見が別れ継続審査となりました。

みなさんのご要望、ご相談お気軽にお寄せください

コロナ禍の生活も一年半を超えました。市民のみなさん、日々の生活の中でのご要望、ご相談お気軽にお寄せください。

花井伸子市議

090-6039-9275

本田哲市議

090-3535-9643

むとう葉子市議

048-443-8332

(上記電話番号は、藤・戸田地区委員会です)

